平成２１年度　景観からの地域づくり（景観点検）実施業務概要書

「水の里二子発見！すず・井戸っこめぐり事業」

岩手県北上市二子町
実施団体：　二子町振興協議会

背景

二子の資源

大昔の二子町は、川であったとか、湿地帯であったと伝えられており、町内には、「小沼」や「岡島」「中島」「谷地」と言った地名が現在でも残っています。

二子では湧き水を「清水（すず）」、「井戸っこ」とも言い、特にも北上川沿いには多く点在していました。二子町には山が殆どないのに清水が多いことはとても珍しいともいわれています。

「二子さといも」や「二子ながいも」はその代表的な産物であり、その共同洗い場としての清水・井戸っこは生活になくてはならないものであり、身近な社交の場でもありました。

二子の課題

自家水道や公共上水道の普及により、めっきり「社交の場」としての清水・井戸っこはめっきり、その姿を消してしまいました。

地域では、清水・井戸っこが地域に存在していることも知らない住民も多く、また清水自体も荒廃している場所も多く見受けられます。

目的

二子地区にある清水（すず）・井戸っこの現状を多世代の地域住民で調査し、地図を作成し、広く広報することで、二子の原風景を共有し、今後の地域づくりの基礎資料にすることを目的とします。

事業内容

清水めぐり景観点検

日時：7月２５日
参加者：12名
地域住民によって、各地区の清水・井戸っこをめぐり、現状の確認、課題と活用方法について検討を行いました。

景観資源の掘り起こし →

清水井戸っこめぐり

日時：１０月１２日　参加者：５０名
子どもから高齢者まで、多くの地区住民が清水・井戸っ子をめぐりました。

清水活性化事業

日時：９月２７日　参加者約5,000名
二子の里いものこまつりで、清水・井戸っこを多くの市民にＰＲしました

地域住民・市民へのＰＲ →

看板建て

すず３か所に標識柱を設置し、すずの存在がわかるようにしました

ポスター作成

すず・井戸っこＭＡＰのポスターを作成し、地域内に配布しました

景観資産継承への基盤整備

成果

地域住民に対して、地域の宝である「清水・井戸っこ」を広く知ってもらうとともに、それを守り育てる意識を啓発し、二子特有の生活文化の継承につながりました。